

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	議会答弁・報道機関対応			行政、企業両方の経験ある講師ということもあり、豊富な経験談が取り込まれていて、実例を交えた講義は内容が分かりやすく、大変勉強になりました。また、答弁書作成や模擬記者会見など演習が充実していて、実際の対応に役立つと感じました。
講師	一般社団法人 日本経営協会 もり たけし 森 健		実施日数・時間	2日間
			手法	通所研修
			会場	自治人材開発センター
			市町村研修コード	261～262
ねらい	管理職職員にあつては、議会・報道機関に対して適切に説明責任を果たしていくことが重要です。本研修では、議会・報道機関と接する際の基本的な姿勢を理解するとともに、答弁書作成や説明のポイントなどを理論的かつ体験的に学びます。			
対象者	【県】令和5年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 7/6(木)・7/7(金) ② 10/24(火)・10/25(水)			
予定人員	県30人・市町村50人（各回 県15人・市町村25人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	議会運営の全体構造	6	30	・議会運営の基本的事項について基礎知識の確認をするとともに、県議会と市町村議会の差異についても言及します。
	答弁書作成の実践ポイント			・答弁書作成のポイントについて、具体的なチェックポイントを提示しながら学んでいきます。
	答弁書作成演習			・架空の市の情報管理体制や防災対策に関する質問について、答弁方針を検討し、実際の答弁書を作成します。
2日 9:00 ～ 16:30	まとめ・質疑応答	6	30	・初日の振り返りと質疑応答を行います。
	行政の説明責任と報道機関			・報道機関との関わり方の基本を確認します。
	平時における報道機関対応			・平時における報道機関との関わり方を確認します。
	有事における報道機関対応			・有事（危機管理）における報道機関対応について、危機管理の基本を押さえつつ、実践的な判断ポイントを確認していきます。
	緊急記者会見演習			・架空の市の教育委員会及び小学校で発生した不祥事が、県の教育委員会にまで波及した前提で緊急記者会見を訓練形式で実施します。
	総括講義・質疑応答			・研修全体の振り返りと今後の自己啓発のポイントを確認します。
特記事項				